

イベントスケジュール

2/6 木

古代インドと日本を結ぶアート

17:30~19:30

オディッシーダンサー 小野雅子 来日公演

【会場】 シンポジウムスペース

20:00~21:00

ギャラリー・オープニングレセプション

2/7 金

ワークショップシリーズ

インド舞踊を体験してみよう！

11:00~12:30

小野雅子

東インド舞踊オディッシー ワークショップ

14:00~15:00

Shivaangee Agrawal

南インド舞踊バラタナティアム

実演&ワークショップ

2/8 土

レクチャーシリーズ

オディシャへの旅と探究とイノベーション

14:00~15:00

上田彩季

(京都大学アジア研究教育ユニットメンバー)

『インド・オディシャ州における伝統銀線細工フィリグリー

——ソーシャル・ビジネスの可能性に関する実践的研究——』

オディシャ州で数百年前から伝わる銀線細工、フィリグリー。上田さんは衰退するフィリグリーの保護を目的とする事業を立ち上げ、ソーシャル・ビジネスの可能性について人類学的に探ってきました。オディシャでの Mudra Foundation や職人たちとの出会い、そしてフィリグリーを日本で販売していく方法について、お話しします。

15:00~16:00

タツ・ミキ

(インディゴ・アーティスト)

『マイ・ファースト・インディア ～究極のクローズを求めて～』

タツミキは、天然インディゴを使った至高のブルー作りを目指す染色アーティスト。そのタツミキが、六年前に出会った"最高の相棒"、ワイルドシルク(野蚕)の故郷である小さな村々を訪ねるため、はじめてインドを旅した時のことをお話しします。

★ 開場期間中、いつでも気軽に立ち寄ってください！ (入場・参加費無料)

Odisha Biennale について

インド在住17年を数え、インド政府にただ一人の日本人として公認されているインド古典舞踊のオディッシーダンサー、小野雅子。2009年に「アートをみんなに」というコンセプトのもとNPO団体Mudra Foundation(ムドラー・ファンデーション)を設立し、貧困地域にある孤児院や学校でのワークショップ等、アートを通じた社会貢献活動に積極的に取り組んできました。そして2013年11月に、Mudra Foundationはオディシャ州の州都ブバネシュワールで『オディシャ・ビエンナーレ』を立ち上げ、古典舞踊やコンテンポラリーダンスなどのパフォーマンスアーツを軸に、写真や絵画、映像作品、デザイン、ファッションなど、さまざまな芸術分野のアーティストを招いて、芸術祭を開催しました。

2年に一度、世界中からトライバル・フォーク・古典・コンテンポラリーなどといったさまざまな芸術分野の各アーティストたちが、カテゴリーを隔てることなくオディシャという場所に集い、自由で創造的な表現の場を創出していくアートムーブメント。『オディシャ・ビエンナーレ comes to 日吉』では、これまでの活動の展示報告を行うと共に、グローバルに活躍するインディゴアーティスト Tatz Miki との新たなコラボレーションも目指します。

協力 小山奈々子、上田彩季、孫恵琳、葛里華、金佳奈実